

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



江東区

子どもの成長を見守り支える 「江東区こどもプラザ」

2022年(令和4年)にオープンした「江東区こどもプラザ」は、子育て支援を主目的としたさまざまな機能を備えた施設です。江東区初の「子ども向け複合施設」として、地域の子どもたちの成長を見守り支えています。

子育てを継続的に支援し見守る

「江東区こどもプラザ」は、子ども家庭支援センターやこどもプラザ図書館、地域交流スペースなど、さまざまな機能を備えた江東区初の子ども向け複合施設です。妊娠期から18歳までのすべての子どもと保護者を対象とし、「子どもの健やかな成長を地域とともに継続的に見守り、総合的に支援する」ことをコンセプトとしています。妊娠期から継続的に利用しやすい環境が整っており、子育ての悩みごとを気軽に相談できるスペースを設けるなど、相談支援にも力を入れています。

子どもたちの「居場所」を提供

「住吉子ども家庭支援センター」は、親子で遊べる「子育てひろば」、ひろばで随時対応する「子育て相談」、子どもの一時預かり「リフレッシュひととき保育」の3事業を柱とし、乳幼児親子が安心して過ごせる場所の提供や、保護者の育児負担の軽減、孤立感の解消を図ることを目的とした施設です。

「こどもプラザ図書館」は、妊娠・子育て中の保護者や、乳幼児から中高生世代を対象にした約6万冊の本が揃う図書館です。館内には、親子でくつろげる「絵本コーナー」や友達同士で会話もできる「グループ学習コーナー」もあります。

ほかにも、バスケットボールなどを楽しめる多目的スペースや、さまざまな楽器に触れることができる音楽室などがあり、子どもたちの居場所になっています。

人と人をつなげる地域拠点に

「江東区こどもプラザ」は、自治会やボランティア団体、学校、神社など、地域とのつながりを大切にしたい運営をしています。利用者同士や近隣住民との交流も盛んに行い、地域全体で子どもを育てるという目的に向け歩みを進めています。

同施設は、主に近隣の子育て世代を対象としていますが、図書館の利用など子育て世代以外の利用も可能です。おしゃべりや飲食を楽しめる「地域交流スペース」や、新聞や雑誌等をゆっくり読むことができる「読書サロン」が1階にあり、地域住民の憩いの場となっています。子育て世代はもちろんのこと、それ以外の人たちの利用拡大に努め、0～18歳までの子どもたちの居場所になるとともに、地域の集まりの拠点となる施設を目指します。



▲幼児が自由に遊べる「プレイルーム」



▲運動器具を備えた「多目的スペース」



▲小さな子どもと保護者を対象にした「こどもプラザ図書館」の2F



▲児童から中高生を対象にした図書館3F



▲「音楽室」では、楽器の貸し出しも行う



▲児童から中高生を対象にした図書館3F

イベント 10月 こどもプラザまつり

自治会や地域のボランティア、施設で募集した小学生ボランティア、隣接する老人ホーム利用者など、地域と連携して年に一度開催。和太鼓演奏やバザー、ビンゴ大会なイベント盛りだくさんで、昨年2,831名が来場しました。



江東区こどもプラザ

所在地 江東区住吉1-9-8
開館時間 9:00～20:00(日祝・12/28は～19:00)
休館日 第3金曜(祝日の場合は第3木曜)、12/29～1/4
利用料金 無料(有料の施設あり)
アクセス 東京メトロ半蔵門線住吉駅より徒歩5分
お問合わせ 03-5600-3880

